

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(1)-(ア)	具体的な取組	防災マップを作り、災害に備えよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 居住する地区における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、洪水や高潮による浸水想定区域、避難経路及び避難場所を正しく理解し、災害時に的確な避難行動を行えるよう、地域独自の情報を掲載した防災マップの作成を支援する。				
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災マップを作成した町内会数			○目標値の考え方	
○目標値と進捗状況			2019年度末までに、全小学校区で学区全体の防災マップを作成し、さらに196町内会中121の町内会の防災マップを作成する予定としている。 今後は、未作成である75町内会のうち、現在作成に向けて取り組んでいる18町内会については2020年度末までの作成を目標とし、それ以外の57町内会については、5年ごとに行われる土砂災害警戒区域等の更新の時期（2021～2023年度で実施予定）に併せた作成を目標とする。	
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	121 町内会 /196 町内会	139 町内会 /196 町内会	135 町内会 /196 町内会	78%
新規目標数：18 町内会、年度末実績：14 町内会				
○2020年度の実績等 作成を目指した18町内会と協議を行い、14町内会は作成・配布した。残りの4町内会については、既に作成済みの学区全体の防災マップで災害時に的確な避難行動が行えるということから作成まで至らなかったが、2022年度の土砂災害警戒区域等の更新時期に併せて町内会の防災マップを作成する予定である。 (参考)				
区 分	目 標 (a)	作成・配布済 (b)	2022年度作成予定 (a-b)	
戸坂城山地区	7 町内会	5 町内会	2 町内会	
尾長地区	3 町内会	2 町内会	1 町内会	
矢賀地区	8 町内会	7 町内会	1 町内会	
計	18 町内会	14 町内会	4 町内会	
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
155 町内会 /196 町内会	東浄地区16町内会の防災マップの作成支援（勉強会の開催、アドバイザーの派遣、マップ印刷）を行う。			
○取組上の課題等 町内会の防災マップ作成に当たり、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行った上で、防災士又は区役所職員が、街歩きや会議など防災マップ作成のための支援を行う。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(1)-(イ)	具体的な取組	「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	担当課	地域起こし推進課																				
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え																								
事業目的・内容 「自分の命は自分で守る」という自助の意識向上を図るとともに、「共助」の重要性を理解することを目的とし、学区自主防災会連合会、消防団及び区役所等が連携し、住民が災害から身を守るための行動や、自主防災組織等が指定避難所で取るべき行動の確認を行う防災訓練を実施する。																								
○課題と対応 平成30年7月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。																								
○指標 防災訓練を実施した地区数			○目標値の考え方 毎年、「二葉」「福木・温品」「戸坂」「牛田・早稲田」の4つのエリアのうち、1地区で訓練を実施している。今後も、同様な形で訓練を継続する。																					
○目標値と進捗状況																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の目標値</td> <td>4地区/年</td> <td>4地区/年</td> <td>1地区/年</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の目標値	4地区/年	4地区/年	1地区/年	25%							
年度	2019 実績	2020																						
		目標値	実績	進捗率																				
年度毎の目標値	4地区/年	4地区/年	1地区/年	25%																				
○2020年度の取組内容等 4つのエリアの学区自主防災会連合会と実施に向けた協議を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3つのエリアは防災訓練を中止とした。 そうした中で、「福木・温品」エリアは、風水害から地震へ想定内容を見直し、訓練会場の規模を縮小するとともに、参加者のマスク着用、検温及び会場の換気などの新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、防災訓練を実施した。 (参考)																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二葉エリア</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福木・温品エリア</td> <td>9月13日(日)</td> <td>温品小学校</td> <td>温品・上温品地区合同実施</td> </tr> <tr> <td>戸坂エリア</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>牛田・早稲田エリア</td> <td>中止</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	実施日	会場	備考	二葉エリア	中止	—		福木・温品エリア	9月13日(日)	温品小学校	温品・上温品地区合同実施	戸坂エリア	中止	—		牛田・早稲田エリア	中止	—	
区分	実施日	会場	備考																					
二葉エリア	中止	—																						
福木・温品エリア	9月13日(日)	温品小学校	温品・上温品地区合同実施																					
戸坂エリア	中止	—																						
牛田・早稲田エリア	中止	—																						
○2021年度の目標値と取組方針等																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">4地区/年</td> <td> 二葉エリア・・・開催に向けて協議する。 福木・温品エリア・・・温品小学校で9月上旬に開催予定 戸坂エリア・・・開催に向けて協議する。 牛田・早稲田エリア・・・開催に向けて協議する。 </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	4地区/年	二葉エリア・・・開催に向けて協議する。 福木・温品エリア・・・温品小学校で9月上旬に開催予定 戸坂エリア・・・開催に向けて協議する。 牛田・早稲田エリア・・・開催に向けて協議する。																
目標値	取組方針等																							
4地区/年	二葉エリア・・・開催に向けて協議する。 福木・温品エリア・・・温品小学校で9月上旬に開催予定 戸坂エリア・・・開催に向けて協議する。 牛田・早稲田エリア・・・開催に向けて協議する。																							
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまでの防災訓練のように1か所に大人数を集めて、長時間の訓練を行うのではなく、参加人数を制限するとともに、担架搬送訓練や炊き出しなど、感染リスクが高い訓練は中止し、できるだけ時間短縮して実施する方向で学区自主防災会連合会と協議する。																								
○備考																								

アクションプラン 検証シート (2020 年度実績)

項目番号 1-(2) 2-(4)-(エ)	具 体的 な 取 組	要支援者を地域で支えよう!	担当課	地域起こし推進課 地域支えあい課			
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (2) 避難行動要支援者への支援							
事業目的・内容 災害時に一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が、安全かつ確実に避難することを目的とし、町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会へ対象者の名簿を提供し、対象者一人ひとりについて避難に必要な具体的事項を整理した計画（個別計画）を作成できるよう支援を行っている。							
○課題と対応 要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。							
○指標 対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別計画を作成した地区数			○目標値の考え方 2019 年度までに4地区（東浄・上温品・温品・福田）で作成している。2020 年度の名簿提供時から、作成した個別計画数を報告していただくこととし、1 年度あたり2 地区（2024 年度は1 地区）での作成を目標とする。				
○目標値と進捗状況							
年度	2019 実績	2020					
		目標値	実績	進捗率			
年度毎の 目標値	4 /13 地区	6 /13 地区	6 /13 地区	100%			
○2020 年度 of 取組内容等 避難時に支援の必要があるかの把握ができていない417 人について、学区自主防災会連合会の協力を得て実態調査を行った。（戸坂・戸坂城山・東浄地区については、民生委員・児童委員の協力を得て調査を実施） 【実態調査結果】							
地区名	調査対象	居住していない	4 階以上に居住	避難支援者がいる	実態不明	避難支援者がいない	個別計画作成済
福 田	25	4	0	20	0	1	1
馬 木	51	2	0	41	6	2	1
上 温 品	16	2	0	13	0	1	0
温 品	10	0	0	7	3	0	0
東 浄	26	1	4	19	1	1	0
戸坂城山	37	3	2	30	0	2	0
戸 坂	83	16	3	42	12	10	0
牛田新町	15	3	4	7	0	1	0
牛 田	46	7	0	28	2	9	0
早 稲 田	16	2	0	5	9	0	0
中 山	15	1	0	10	1	3	0
尾 長	61	16	3	33	0	9	0
矢 賀	16	2	0	10	3	1	1
計	417	59	16	265	37	40	3
実態調査で、避難支援者がいないと判明した人に対して、個別計画の作成支援を行い、福田地区で1人、馬木地区で1人、矢賀地区で1人の個別計画を作成した。							
○2021 年度 of 目標値と取組方針等							
目標値	取組方針等						
8 /13 地区	実態調査の結果、「避難支援者がいない」「実態不明」と判明した人へ電話等により実態把握を進め、地域と連携して個別計画の作成を支援する。						
○取組上の課題等 避難行動要支援者のうち、「避難支援者がいない」「実態不明」と判明した人の実態調査や個別計画の作成支援のため、地域包括支援センターや障害者基幹相談センター等と連携する。（2021 年 6 月 2 日関係者会議開催）							
○備考							

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(3)-(ア)	具体的な取組	次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化																	
事業目的・内容 各種地域団体が抱えている、役員の高齢化や担い手不足など、地域コミュニティの活力低下が顕在化しているため、その課題解決に向けて、令和2年度から年1回「地域コミュニティの活性化」をテーマとした講演会を開催する。																	
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。																	
○指標 講演会の参加者数			○目標値の考え方 東区民文化センター大ホールで講演会を実施する想定として、毎年度500人の参加を目標とする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">500人</td> <td style="text-align: center;">0人</td> <td style="text-align: center;">0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	—	500人	0人	0%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	—	500人	0人	0%													
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、講演の場として予定していた12月の「東区コミュニティ交流協議会東区民大会」及び2月の「町内会・自治会長等研修会」は中止したことから、3月27日（土）に広島市がオンラインで開催した、『「地域コミュニティ」を考えるシンポジウム』（※1）の視聴を地域団体（※2）へ呼び掛けた。 （※1）開催内容 ・基調講演「地域コミュニティと広島の将来像」（松井広島市長） ・町内会・自治会長等実態調査結果報告（中谷コミュニティ再生課長） ・パネルディスカッション （早稲田学区社会福祉協議会 西田会長 ほか5名） （※2）東区コミュニティ交流協議会構成団体（36団体）、町内会・自治会（196団体）、区内小中学校のPTA																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">500人</td> <td>東区民文化センター大ホールで、感染防止対策を講じた講演会を開催する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	500人	東区民文化センター大ホールで、感染防止対策を講じた講演会を開催する。									
目標値	取組方針等																
500人	東区民文化センター大ホールで、感染防止対策を講じた講演会を開催する。																
○取組上の課題等 感染防止対策のため、参加人数を制限する必要があることから、より多くの方に視聴してもらえるようWebによるライブ配信を検討する。																	
○備考																	

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(3)-(イ)	具体的な取組	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化				
事業目的・内容 平成27年度から住宅団地の活性化を目的に制度が創設され、平成29年度からは全市域に対象エリアを拡大し、町内会、地区社会福祉協議会、子ども会が新たに行う地域コミュニティの活性化のための主体的・継続的な取組に補助金を交付している。				
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019年度までの過去5年間の新規申請件数の平均が2件であるため、毎年度2件以上を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
	2019 実績	2020		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2件 /年	2件以上 /年	3件 /年	150%
○2020年度の取組内容等 1次募集での新規申請が0件であったため、「市民と市政」での広報、公民館長会議や町内会長来課の機会をとらえて制度を周知した結果、2次募集で1件【片河町内会】、3次募集で2件【温品連合町内会、中山台町内会】の申請があり、新規申請は3件となった。				
団体名（補助額）	事業内容			
片河町内会（尾長学区） （10万円）	坂の多い地形をいかしたウォーキングサロンを実施し、屋外での交流機会を設けることで、地域コミュニティの活性化を図る。			
温品学区連合町内会 （10万円）	①防災カードの普及、②「まんがポスター」の作成、③道路冠水レベルを示す案内板の設置を実施することで、地域住民の防災意識を高め、災害に強いまちを目指す。			
中山台町内会（東浄学区） （10万円）※	世代を問わずに楽しめる神楽大会を継続的に開催し、子どもたちが企画・運営に参加することで地域とのつながりを深め、地域コミュニティの活性化を図る。			
※新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止したため、2021年度に再度申請予定				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2件以上 /年	新年度募集開始時に地区社会福祉協議会等に手引き等の案内を送付する。また、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなど、より広く制度の周知を図っていく。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の地域活動自体が自粛・縮小される中であって、新たな活動を開始しづらい情勢にはあるが、引き続き「市民と市政」などにより、既存の活動団体の事例を紹介するなど周知を図っていく。 また、地区社会福祉協議会等の団体に手引き等の案内を送付するなどして、今後の補助申請につながる取組・団体の掘り起こしを行う。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(4)-(ア)	具体的な取組 地域の安全は地域で守ろう！		担当課 地域起こし推進課	
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、平成 26 年度から町内会が道路等の公共空間に防犯カメラを設置する場合、補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数			○目標値の考え方 2014 年度からの 6 年間における設置台数の平均が約 5 台/年であることから、年間 5 台以上の設置を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	5 台 /6年平均	5台以上 /年	3台 /年	60%
○2020 年度の取組内容等 3 団体より申請があり、計 3 台の設置を支援した。 また、2 月に東区コミュニティ交流協議会「減らそう犯罪」推進部会委員に対して、各地区の設置状況を周知するとともに、当該補助制度を積極的に活用するよう呼び掛けた。 (参考) 広島市地域防犯カメラ設置補助制度による防犯カメラ設置状況				
地 区	～2019 年度	2020 年度	計	
福 田	2 台	1 台	3 台	
馬 木	8 台	1 台	9 台	
上 温 品	1 台	—	1 台	
温 品	1 台	—	1 台	
東 浄	—	—	—	
戸坂城山	—	—	—	
戸 坂	1 台	—	1 台	
牛田新町	—	—	—	
牛 田	8 台	1 台	9 台	
早 稲 田	—	—	—	
中 山	2 台	—	2 台	
尾 長	9 台	—	9 台	
矢 賀	—	—	—	
計	32 台	3 台	35 台	
○2021 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5 台以上 /年	地区によって設置台数に偏りがあることについて周知を行い、年間 5 台以上の設置を支援する。			
○取組上の課題等 当該補助金により設置されている防犯カメラは、地区により危険箇所等を確認した上での申請になるとはいえ、地区によって設置台数に偏りがある。犯罪の起こりにくい安全なまちづくりのためには、その偏りを地域団体に周知するとともに、設置が必要な箇所には当該補助金を積極的に活用するよう呼び掛けていく。				
○備考 「新型コロナウイルス感染症の影響に対する地域福祉活動緊急支援事業」（健康福祉局地域共生社会推進室）を活用した防犯カメラの設置を検討するよう各地区社会福祉協議会に周知したところ、3 件 6 台（牛田 2 台、温品 2 台、上温品 2 台）の申請があり、交付決定されている。（申請受付期間は 2020 年 12 月 28 日で終了）				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(4)-(イ)	具体的な取組	防犯灯でまちを明るくしよう！	担当課	維持管理課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりを進めるため、犯罪の抑止力になる防犯灯を区役所が設置するほか、町内会が独自に設置する場合についても、昭和37年度から補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯灯の新規設置か所数			○目標値の考え方 過去3年間の平均で、区役所が新規設置する防犯灯が15か所、町内会が市からの補助を受けて新規設置する防犯灯が5か所のため、毎年度20か所の新規設置を目標に取り組む。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	20か所 /年	20か所 /年	18か所 /年	90%
○2020年度の実績等 新設要望のあった18か所について設置工事を完了しており、目標値に対する達成率は90%であった。 なお、市からの補助を受けて町内会が新規設置する防犯灯については、来年度以降の設置等について問合せが数件あったものの、今年度設置可能なものについての具体的な相談はなかった。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
20か所 /年	町内会からの個別要望や街路灯維持補修費補助金申請の受付時など、街路灯の市による新設又は町内会による新規設置補助等の要望・相談を受ける機会があれば、対応の是非を判断の上、対応可能であれば積極的に対応していく。 馬木地区社会福祉協議会から設置要望が出されている広島中島線の3か所の防犯灯を設置予定である。			
○取組上の課題等 防犯灯の新設については、東区役所（維持管理課）で工事施工することができないため、要望を受けてから設置するまでにかなりの時間を要している。 また、本庁（都市整備局設備課）も複数区を取りまとめた上で工事発注するため、事務処理等に時間を要している。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 1-(5)	具体的な取組	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (5) 交通事故のない安全なまちづくり				
事業目的・内容 交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため、交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、学校、警察等と連携して、年間に交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催し、事故のない安全なまちづくりを推進する。				
○課題と対応 交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。				
○指標 交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数			○目標値の考え方 年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催していることから、年間6回以上の開催数とする	
○目標値と進捗状況				
	2019 実績	2020		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6回 /年	6回以上 /年	0回 /年	0%
○2020年度の実績等 交通安全街頭キャンペーン及び自転車交通マナー教室については、新型コロナウイルス感染症の影響から、例年どおりの実施内容では密集・密接を避けられず、安全にイベントを実施できないため、中止とした。 なお、これらの運動期間中は、庁内放送及びのぼり旗の掲示、Facebookにより啓発活動を行った。 (参考)				
	区 分	計 画	実 績	
	① 交通安全街頭キャンペーン(春)	4月	中止	
	② 交通安全街頭キャンペーン(夏)	7月	中止	
	③ 交通安全街頭キャンペーン(秋)	9月	中止	
	④ 交通安全街頭キャンペーン(年末)	12月	中止	
	⑤ 自転車交通マナー教室	6月	中止	
	⑥ 自転車交通マナー教室	2月	中止	
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6回以上 /年	年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催する。(ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況により実施が困難な場合は、のぼり旗の掲示等による啓発活動を行う。)			
○取組上の課題等 不特定多数の人に対して啓発物品を配る交通安全街頭キャンペーンについては、今後も例年どおりの実施が困難なことが想定されることから、その場合は、のぼり旗の掲示やFacebook等による啓発活動を行う。 また、高校生を対象とした自転車交通マナー教室については、自転車交通ルールやマナーを守らない人が依然として見られることから、密接・密集を避けて行う方法を広島東警察署や学校等と協議する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(1)- (ア)	具体的 な取組	認知症サポーターになろう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症に関する正しい知識を有し、認知症の人やその家族のよき理解者となる認知症サポーターを増やし、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、平成18年度から、区民や地域団体・事業所等を対象とし、地域住民の要請等に基づき、地域包括支援センター等が企画して、認知症サポーター養成講座を開催している。 これに加え、東区では、若い世代から認知症を知り理解を深めることが重要であるため、小中高等学校の児童生徒や大学生を対象とした講座を年1回、各学校において開催している。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症サポーター養成講座の実施校数			○目標値の考え方 2019年度の実績として小学校1校、私学の中高一貫校1校が未実施のため、2020年度までに小中高全ての学校での実施を目標とする。その後も全ての小中高の学校での実施を継続するとともに、特別支援校等の実施を検討する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	23校 小学校 11/12 中学校 6/6 高等学校 4/5 大学 2/2	25校 小学校 12/12 中学校 6/6 高等学校 5/5 大学 2/2	9校 小学校 2/12 中学校 4/6 高等学校 2/5 大学 1/2	36%
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症による臨時休校のため各学校の授業に大幅な遅れが生じ、養成講座の開催時間を確保することが難しい状況にあったため、5月に小学校長会及び中学校長会で可能な範囲での開催協力を依頼した。また、昨年度開催した高校と大学に対して個別に連絡し、可能な範囲での開催協力を依頼した。 その結果、早稲田小学校、尾長小学校、福木中学校、温品中学校、牛田中学校、二葉中学校、安芸高等学校、広島商業高等学校及び比治山大学の9校で実施した。また、2月3日に東区地域女性団体連合会と共催での講座を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期した。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
25校 小学校 12/12 中学校 6/6 高等学校 5/5 大学 2/2	小学校長会及び中学校長会等で開催について説明し、開催協力を依頼する。地域包括支援センターと連携し、感染症対策を講じた上での安全な開催に向けた支援を行う。また、東区地域女性団体連合会と共催での講座を、2021年8月4日に開催する。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の再拡大により、講座の開催ができなかった学校があるため、安心して開催できるように、感染症対策を講じた開催方法の提案や学校との個別協議を行っていく。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(1)-(イ)	具体的な取組	認知症支援あいカフェを広めよう！			担当課	地域支援あい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応						
事業目的・内容 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、平成26年度より認知症の人とその家族、地域団体、医師・社会福祉士・保健師等が、概ね月1回程度、地域の集会所や病院などで気軽に集い交流を図る認知症支援あいカフェを開催している。専門職による相談・助言により、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。						
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。						
○指標 認知症支援あいカフェの設置地区数				○目標値の考え方 2019年度実績が8地区社協エリアであったため、2020年度目標を9地区とし、2024年度までに全地区設置とする。		
○目標値と進捗状況						
		2020				
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	8/13 地区	9/13 地区	10/13 地区	200%		
				新規目標数：1地区、年度末実績2地区		
○2020年度の取組内容等 4月当初は新型コロナウイルス感染症の影響により、既に設置している8地区10か所の認知症支援あいカフェの全てが休止の状況であったため、5月に安全に実施するための新型コロナウイルス感染症予防対策の留意点をまとめたチラシを作成し、広報活動や指導を行った。 コロナ禍であったが、7月に早稲田地区の「みち草カフェ」、10月に温品地区の「温品きんさいカフェ」の2か所が新規に開設し、10地区12か所となった。 9月4日には「認知症支援あいカフェ店長さん会議」を開催して、再開に向けた工夫等に関する意見交換を行い、12月までに新規2か所を含め4か所が再開した。1月には、感染症の再拡大により、12か所全てが休止したが、3月には、5か所が再開している。 3月から、温品地区で新たに温品学区社会福祉協議会と広島銀行温品支店が連携して開設する「間所支援あいカフェ」の立ち上げ支援を開始している。						
○2021年度の目標値と取組方針等						
目標値	取組方針等					
10/13 地区	未設置地区3か所（牛田・中山・矢賀）にアプローチしていく。 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、認知症支援あいカフェ再開に向けての支援を行う。					
○取組上の課題等 認知症支援あいカフェの会場は、施設や病院も多く、感染症予防のために、会場が利用できない状況がある。今後の活動再開に際しては、地域団体の協力を得て、会場やスタッフの調整を図る等の工夫を行い、感染症予防対策を講じた上で、安全に開催していく。						
○備考						

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(2)	具体的な取組	いきいき百歳体操に取り組みよう！			担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進						
事業目的・内容 誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進めるため、高齢者が気軽に通える身近な地域の集会所等で、いきいき百歳体操等を行う「介護予防拠点」を平成29年度から整備している。						
○課題と対応 介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。						
○指標 拠点数と参加者数				○目標値の考え方		
○目標値と進捗状況				広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方（2025年度までに高齢者の1割が参加）を踏まえ、2025年度の東区の高齢者人口約31,000人のうち、1割の3,100人の参加を目標とし、拠点数については、1拠点あたりの参加者数を20人として設定している。 なお、2026年度以降については、次期プランに併せて作成する。		
年度	2019 実績	2020				
		目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	73 拠点 1,685人	99 拠点 1,980人	97 拠点 2,276人	200%		
新規目標数：295人、年度末実績591人						
○2020年度の実績内容等 新型コロナウイルス感染症の影響により、4月には全ての活動を休止した。6月上旬に、感染症予防対策を講じて安全に実施するための留意点をまとめたチラシを作成し、広報活動や指導を行った。その後、感染対策を講じた上で活動が再開し、6月には50%が、9月末には約84%の拠点が再開した。 また、12月には、高齢者いきいき活動ポイント事業におけるタブレット端末の導入先である地区社協に対し、オンライン通いの場アプリの普及啓発のためのチラシを配付し、自宅のできる体操や脳トレの紹介を行った。12月の感染症の再拡大により、ほとんどの拠点が活動を休止したが、2月の集中対策期間終了後、徐々に再開しており、3月末時点での拠点再開数は90拠点（93%）である。						
○2021年度の目標値と取組方針等						
目標値	取組方針等					
110 拠点 2,204人	いきいき百歳体操の活動に併せて、多様な介護予防事業につながる取組を支援する。また、地域の良い取組を他の地区へ紹介することで、好事例の横展開を図っていく。					
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大予防のために活動自粛していた高齢者にうつ傾向・フレイル（疾病や加齢に伴う心身機能の低下）の兆候が見られるため、虚弱高齢者を早期に発見し、適切に支援につなぐ必要がある。今後は、高齢者の介護予防の活動として、室内でのいきいき百歳体操だけでなく、室外でのウォーキング等の多様な取組を支援していく。						
○備考						

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-③	具体的な取組	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (3) 地域ぐるみの子育て支援				
事業目的・内容 子育て中の親子が地域で孤立しないよう、子育て支援ボランティアや民生委員児童委員が中心となり、月に1回程度、公民館や集会所等で子育て親子が気軽に集い交流できる地域子育てオープンスペースを開催している。				
○課題と対応 子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。				
○指標 地域の子育てオープンスペースの参加者数			○目標値の考え方 2018年度の参加者が2,712人(16か所)であったため、2020年度目標を2,900人とし、毎年度50人増やすこととする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2,712人	2,900人	450人	16%
○2020年度の実績内容等 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月まで休止していた子育てオープンスペースを6月から徐々に再開し、12月初旬には、17か所中9か所が再開していた。しかし、再び12月14日から全ての子育てオープンスペースが休止となり、2月8日以降に7か所が再開した。 子育てオープンスペース等が休止期間中に新設したオンラインによる交流の場では、週1回、臨床心理士や歯科衛生士等による育児講座や子育て中の親同士が交流できる「オンラインおしゃべり広場」を42回開催し、316人が参加した。 また、12月4日に「子育て支援者情報交換会」を開催し、コロナ禍での安全な開催について情報交換をした。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2,950人	支援者を対象とした研修会や情報交換会を実施し、安全に開催できるよう支援する。 子育てオープンスペースの新規立ち上げについて地域団体等と協議する。			
○取組上の課題等 地域の高齢者が運営者となって活動している場が多く、なかなか再開できない状況にある。感染対策を講じながら、子育て中の親子が交流する場を広げていく。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(4)-(ア)	具体的な取組	「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 高齢者、子ども、障害者などすべての人々が「住みなれた地域で安心して暮らすことができる」地域共生社会の実現を目指し、平成31年4月に「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を設置し、その取組の一環として、地域団体の活動をまとめた「東区地域支えあいリスト」を作成した。 子育て中の親子や高齢者、障害児・者が地域で通える場所やボランティアバンク等の生活支援の情報を、日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストで掲載している。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 地域支えあいリストの掲載件数			○目標値の考え方 2019年度の掲載件数の296件をベースにして、今後いきいき百歳体操と認知症支えあいカフェの実施団体の増加を年12件～17件見込んでいる。 なお、2026年度以降については、2025年度に作成する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	296件	313件	326件	176%
新規目標数：17件、年度末実績：30件				
○2020年度取組内容等 9月のリスト更新に向けて、5月の「東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」の実務者協議で、地域包括支援センター及び東区社会福祉協議会に、リストデータの更新について依頼した。 6月に、地区社会福祉協議会の代表者にリストの照会を文書依頼するとともに、地域支えあい課においても情報収集を行い、「地域の通いの場」として、新たに「こども食堂（地域食堂）」の項目（3件）を追加した。 9月に、区内の関係団体や公民館への配付やホームページへの掲載を行い、更新作業を完了した。 なお、7月には、新たに区内19か所の郵便局に「東区地域支えあいリスト」を設置した。				
○2021年度目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
325件	<ul style="list-style-type: none"> ・東区支えあいリストの更新及び広報 ・東区地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議の開催 			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、通いの場の新規立ち上げは難しい状況にあるが、有償ボランティア等の新たな掲載情報について情報収集を行っていく。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(4)-(イ)	具体的な取組	医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 誰もが、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるためには、医療・介護ネットワーク（医療介護関係者）と介護予防・生活支援ネットワーク（地域団体）の有機的な連携を進める必要がある。このため、「認知症支えあいカフェ」への医療介護関係者による支援や、地域団体の研修会等への医療介護関係者による講師派遣等を行う。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 医療介護関係者と地域団体が連携した地区数			○目標値の考え方 2020年度から2地区社協エリアで開始し、毎年度2地区増やし、2025年度13地区全ての地区で実施することとする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	—	2/13 地区	4/13 地区	200%
○2020年度の実績内容等 認知症支えあいカフェの医療介護関係者の立ち上げ支援として、早稲田地区「早稲田みち草カフェ」（7月開始）と温品地区「温品きんさいカフェ」（10月開始）の開始に当たって、医師や介護関係者が講師となった勉強会を開催した。 11月から12月にかけて、3か所（温品・戸坂・尾長）の高齢者の通いの場に薬剤師を派遣し、健康教育を実施した（牛田新町学区は新型コロナウイルス感染症の影響により中止）。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4/13 地区	認知症支えあいカフェの立ち上げに当たり、医療介護関係者が支援を行えるよう調整する。 8か所（4圏域各2か所）の高齢者の通いの場に、薬剤師の派遣を行う。			
○取組上の課題等 認知症支えあいカフェや地域の通いの場については、新型コロナウイルス感染症の感染の影響により中止や再開を繰り返しているため、感染対策を講じながら安全に開催できるよう支援するとともに、地域団体と医療介護関係者との連携した取組を支援する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(4)-(ウ)	具体的な取組	地域共生社会の実現のため、多世代交流の場を立ち上げよう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組																	
事業目的・内容 公民館や集会所等で、子ども、高齢者、障害者などを対象とした多世代交流の場を設置し、茶話会や季節の行事等を定期的で開催することで、協働による相乗効果や新たな担い手の発掘など、効率的な取組に発展させる。																	
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。																	
○指標 多世代交流の場の開催地区数			○目標値の考え方 2018年は1地区（戸坂地区）の地区社協のエリアで開催しており、2019年までは年1地区（尾長地区）ずつ、2020年からは年2地区ずつ増やし、2025年度には13か所全ての地区で開催することとする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>2/13 地区</td> <td>4/13 地区</td> <td>4/13 地区</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	2/13 地区	4/13 地区	4/13 地区	100%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	2/13 地区	4/13 地区	4/13 地区	100%													
○2020年度の実績内容等 新型コロナウイルス感染症の影響により、多世代交流の場となっている通いの場等が中止となったため、子育て世帯と高齢者の交流の場は開催できなかった。 感染症の影響により、収益が減少した障害者支援事業所の販路の拡大と障害者と地域住民の交流を目的に、広島市と郵便局の包括的連携協定に基づき、来客数の多い2か所の郵便局において自主製品の販売を実施した（6月～広島戸坂新町郵便局、7月～グラノード広島郵便局）。自主製品のクオリティの高さを知ってもらうことで固定客が増え販売も定着し、障害者の労働意欲の向上や、郵便局員や地域住民との交流が図れた。 10月には、エキキターレのイベントにおいて、主催者（広島テレビ）が障害者支援事業所3か所の自主製品を購入して参加賞として来場者に配付し、地域住民の障害者自立支援事業所への理解を深めた。																	
※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">6/13 地区</td> <td>地域団体や関係機関と協議を重ねながら、多世代交流や障害者支援につながる活動を支援するとともに、好事例の紹介を行い、横展開を図っていく。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	6/13 地区	地域団体や関係機関と協議を重ねながら、多世代交流や障害者支援につながる活動を支援するとともに、好事例の紹介を行い、横展開を図っていく。									
目標値	取組方針等																
6/13 地区	地域団体や関係機関と協議を重ねながら、多世代交流や障害者支援につながる活動を支援するとともに、好事例の紹介を行い、横展開を図っていく。																
○取組上の課題等 地域団体の活動が再休止しているため、安全な再開に向けて支援していくとともに、障害者支援事業所と地域団体や関係機関との連携した取組を支援する。																	
○備考																	

(参考) 地区別の取組内容

地区	取組内容		備考
戸坂	いきいき百歳体操「くるめ木健康体操」と乳幼児健康相談に来所した親子が交流		2020年4月から休止
戸坂城山	2か所の郵便局において、障害者支援事業所「つくしんぼ作業所」の自主製品の販売を実施	戸坂新町郵便局	2020年度新規(2021年度も継続予定)
		グラノード広島郵便局	
尾長	いきいき百歳体操「片河クリスタル」の会場で、障害者支援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売		2020年2月から再開
	エキキターレのイベント(10月3・4日開催)で主催者(広島テレビ)が障害者支援事業所3か所(「つくしんぼ作業所」「きつつき作業所」「はぐくみの里」)の自主製品を購入し、参加賞として配付		2020年度新規
中山	子育てオープンスペース「中山子育ての集い」で、障害者支援事業所「SOARきつつき」が自主製品を販売		2020年度新規(2019年度に試行実施し、2020年度からの本格実施が決定したが、4月から休止)

アクションプラン 検証シート（2020 年度実績）

項目番号 2-(5)-(ア)	具体的 な取組	元気じゃ健診を受けよう！	担当課	地域支えあい課													
<p>まちづくりの方向性及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防</p>																	
<p>事業目的・内容 区民の健康の保持増進、健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の早期発見等を目的に、元気じゃ健診（40歳～74歳の方；特定健康診査、75歳の方；健康診査）を実施しているが、受診者が少ない。このため、平成31年度から社会福祉協議会と連携し、「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、地域ぐるみで住民同士が呼び掛け合って健診受診ができるよう、モデル地区を定めて巡回健診のPRチラシ作成・配布をする等、受診率向上に向けた取組を行っている。</p>																	
<p>○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。</p>																	
<p>○指標 特定健康診査受診率（対象；広島市国民健康保険に加入する40歳～74歳の者）</p>			<p>○目標値の考え方 目標値は、「広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画【第3期：2018年度～2023年度】」の2023年度の目標値50%を基に設定している。 <参考>平成30年度特定健康診査受診率（令和元年7月末時点暫定値）：広島市25.2%、東区24.7%></p>														
<p>○目標値と進捗状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>20.4%</td> <td>35%</td> <td>※18.5% (3月末暫定値)</td> <td>53%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2021年11月頃に2020年度実績（確定値）が判明する。</p>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	20.4%	35%	※18.5% (3月末暫定値)	53%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	20.4%	35%	※18.5% (3月末暫定値)	53%													
<p>○2020年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月の集団検診は中止となり、6月から再開したが、受診控えがあり、受診率が低くなった。郵便局や公民館に元気じゃ健診のチラシを設置するとともに、9月にFacebookで受診勧奨を呼び掛けた。また、戸坂ともいきネット「お役立ち情報」に掲載されている理美容店や商店（計44店舗）に元気じゃ健診のチラシを配付し受診勧奨を行った。 1月から区役所と区総合福祉センター1階モニターでコロナ禍でも健診を受診するよう啓発動画を流している。また、2月3日に東区地域女性団体連合会と共催で「健診サポーター養成講座」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期した。</p>																	
<p>○2021年度の目標値と取組方針等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">40%</td> <td>8月に「健診サポーター養成講座」を東区地域女性団体連合会と共催で実施し、地区担当保健師が地域団体と連携して、地域ぐるみの受診率向上を図る取組を推進する。 また、Facebookでの発信や、いきいき百歳体操でのチラシ配付など、受診率向上に向けた情報を発信する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	40%	8月に「健診サポーター養成講座」を東区地域女性団体連合会と共催で実施し、地区担当保健師が地域団体と連携して、地域ぐるみの受診率向上を図る取組を推進する。 また、Facebookでの発信や、いきいき百歳体操でのチラシ配付など、受診率向上に向けた情報を発信する。									
目標値	取組方針等																
40%	8月に「健診サポーター養成講座」を東区地域女性団体連合会と共催で実施し、地区担当保健師が地域団体と連携して、地域ぐるみの受診率向上を図る取組を推進する。 また、Facebookでの発信や、いきいき百歳体操でのチラシ配付など、受診率向上に向けた情報を発信する。																
<p>○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、集団検診の中止や受診控えが起こることから、受診率の低下が懸念される。</p>																	
<p>○備考</p>																	

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(5)-(イ)	具体的な取組	野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 住民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、野菜摂取の大切さ、栄養バランスを意識した食事について理解を深めることを目的として、健康教室の開催、個別相談等を行っている。平成 26 年度からは区役所食堂において、健康に関する情報の発信、健康相談（月 1 回）、「元気じゃけん定食」の提供支援（月 2 回）等を通じた啓発を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 地元野菜を活用したレシピの数			○目標値の考え方 すこやか食生活推進リーダー※1 及び食生活改善推進員※2 と連携し、毎年、夏野菜と冬野菜を使ったレシピを 1 品ずつ計 2 品開発する。 ※1 地域で健康増進・栄養改善活動を行う本市登録の管理栄養士又は栄養士 ※2 本市実施の食生活改善推進員養成講座を修了し登録したボランティア	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	—	2 品/年	2 品/年	100%
○2020 年度の実績等 すこやか食生活推進リーダーと地元野菜を活用したレシピ案について協議を行い、若い世代の摂取量が少ない魚を含めたレシピの開発を行うこととした。 レシピの選定及び試作を重ね、「魚と一緒に野菜を食べよう」をテーマとしたレシピを完成させ、11 月 20 日に Facebook に掲載するとともに、12 月に地域包括支援センター便りに掲載し、町内会の回覧等により区民へ情報提供した。また、区役所の職員食堂及び常設オープンスペース、乳幼児健診でもレシピの配付を行うことで、働く世代や子育て世代への啓発を実施した。				
○2021 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2 品/年	新規レシピを作成するとともに、過去に作成したレシピを含めて、Facebook やひろしま子育て応援アプリ、地域包括支援センター便り等を通じて情報提供する。 おもてなしの区推進プロジェクト会議（※）において、効果的な情報発信について検討する。			
○取組上の課題等 食生活の改善に向けた啓発活動は重要であるが、若い世代に対する情報発信が十分でないため、効果的な情報発信の方法を検討する。				
○備考 （※）東区役所の若手職員が構成員となり、来庁する区民等に東区の魅力を感じてもらえるよう、東区役所の環境整備や効果的な情報発信等について企画提案を行う会議				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 2-(5)-(ウ)	具体的な取組	東区を歩いて、運動習慣を身につけよう！			担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防						
事業目的・内容 区民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、健康ウォーキングに取り組むきっかけづくりを目的に、平成18年度から各地区公民館等で健康ウォーキング教室を開催し、ウォーキングの普及啓発に取り組んでいる。平成19年度からは、年1回各地区のウォーキングコースを活用した「健康ウォーキングのつどい」を東区公衆衛生推進協議会及び、東区スポーツセンターと共催で実施している。						
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。						
○指標 「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合				○目標値の考え方 2018年度、2019年度の60歳未満参加者割合（アンケート回答者より算出）は、それぞれ3%、6%であった。2020年度は、10%以上、2022年度は15%以上、2025年度は20%以上とする。		
○目標値と進捗状況						
		2020				
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	6%	10%以上	0%	0%		
○2020年度の取組内容等 東区公衆衛生推進協議会及び東区スポーツセンターと協議の上、10月31日に予定していた「健康ウォーキングのつどい」は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。 10月、11月に温品公民館と東区スポーツセンター、地域支えあい課が共催で上温品学区ウォーキング教室を開催し、自主グループ化に向けた支援をしている。 また、温品学区社会福祉協議会がコロナ禍においてもできる活動として、「高齢者いきいき活動ポイント事業」を活用し、週1回、自宅等から岩谷寺（温品学区社会福祉協議会活動拠点）までウォーキングするという取組を開始した。取組が口コミで広がり、毎回100人を超える参加者がある等、新たな地域のつながりが生まれた。また、移転したばかりの拠点を知ってもらう良い機会となった。さらに、温品学区の取組を好事例として、他の地域へ紹介した。						
○2021年度の目標値と取組方針等						
目標値	取組方針等					
10%以上	「健康ウォーキングのつどい」の開催内容や方法などについて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意し、東区公衆衛生推進協議会等と検討する。 温品学区社会福祉協議会の取組など、良い取組を他の地区に紹介し、横展開を図る。					
○取組上の課題等 生活習慣病予防のために運動習慣づくりは大切であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動性が低下した人が増加しているのではないかとと思われる。コロナ禍においても、運動習慣が定着できるよう取り組む。						
○備考						

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(1)-(ア) 4-(1)-(ウ)	具体的 な取組	「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用				
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道（不動院～二葉の里～矢賀一里塚。昭和58年指定）は、国宝「不動院金堂」をはじめ、重要文化財等が集積した歴史文化的価値の高い散歩道である。平成21年3月から、散歩道を活用して東区の魅力発信を図る目的で、「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協働し、「ふたばの日」（毎月28日）に定期ガイド等を実施している。				
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。				
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018年度実績が815人であったため、2020年度目標を830人とし、季節ごとに開催を予定している特別ガイド等の内容充実と、幅広い世代へ届けるための広報手段の工夫により、毎年度1%ずつ参加者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	815人 (2018)	830人	0人	0%
○2020年度取組内容等 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年2月以降、予約なしで不特定多数の方が参加する「ふたばの日」の定期ガイドは中止している。 なお、新しい生活様式に対応して10月1日から再開した「いつでもガイド」（予約制・時間短縮・1グループ5人以内など）は、32回実施し、参加者は110人であった。（12月12日～3月7日の間は中止） 事業中止期間中は、ガイドの資質向上を図るため、「ガイドの手引き」の改訂を行うとともに、老朽化した案内板の整備（8か所）を行った。 【案内板の整備8か所】				
1 聖光寺	2 尾長天満宮	3 饒津神社	4 鶴羽根神社	
5 不動院	6 國前寺	7 アストラムライン牛田駅	8 我羅我羅橋	
○2021年度目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
838人	予約なしで不特定多数の方が参加する「ふたばの日」は当面中止とするが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、再開を検討する。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、ガイドの会と「ふたばの日」の再開の時期・手順・方法を検討する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(1)-(イ) 4-(1)-(エ)	具体的 な取組	「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯籠や参道に「平和の灯」から採火した約千本のろうそくを灯し、平和の夕べを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念するとともに、エキキタをアピールするため、平成24年度から、七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、関係団体及び区役所で組織する実行委員会が中心となり、毎年8月5日に実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 イベントの来訪者数			○目標値の考え方 2019年度実績が1900人であったため、2020年度目標を2,000人とし、毎年度50人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1,900人</td> <td>2,000人</td> <td>0人</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1,900人	2,000人	0人	0%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1,900人	2,000人	0人	0%													
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、実行委員会として「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の中止を決定した。 また、2021年度以降の実施方法の検討のため、本来の趣旨にそった簡略化した事業内容（慰霊のろうそく等）に絞った検討を行った。																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,050人</td> <td>原爆によって亡くなられた人々の慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、密接・密集を避けた上で開催する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2,050人	原爆によって亡くなられた人々の慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、密接・密集を避けた上で開催する。									
目標値	取組方針等																
2,050人	原爆によって亡くなられた人々の慰霊に主眼を置き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、密接・密集を避けた上で開催する。																
○取組上の課題等 上記の方針を基に、実行委員会で検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響が見通せないことから、2021年度も中止を決定した。																	
○備考																	

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(2)-(ア)	具体的な取組	自然観察の楽しさを広めよう！			担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進						
事業目的・内容 東区の自然に恵まれた特性や地域資源を生かし、緑や水に親しむ機会を創出することを目的として、平成12年5月から「東区緑のボランティアの会」と区役所が協働し、東区の豊かな自然とふれあう自然観察会を実施している。						
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。						
○指標 年間参加者数				○目標値の考え方 2018・2019年度は災害等により一部の観察会が中止となったため、2017年度の実績である5回198人（1回あたり平均約40人）を基準とし、1回あたり50人、5回で250人を目標とする。		
○目標値と進捗状況						
年度	2019 実績	2020				
		目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	198人 (2017)	200人	59人	30%		
○2020年度の取組内容等						
自然観察会	4月 春の自然観察会	6月 モリアオガエル	8月 水辺ふれあい	10月 シリブカガシ	11月 秋の自然観察会	
参加者数	中止	中止	中止	中止	59人	
4月～10月の各自然観察会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中止となった。 11月の「秋の自然観察会」は、広島市森林公園で、感染症対策を行った上で実施した。 尾長小学校への学習支援事業「尾長山の自然観察学習」が中止となったことの代替措置として、2月に「東区緑のボランティアの会」が、自然観察の方法や留意事項を示した「自然観察学習の手引き」を作成し、授業用教材として尾長小学校にデータ提供した。						
○2021年度の目標値と取組方針等						
目標値	取組方針等					
210人	参加人数制限や時間差での行動など、密集・密接を避けた自然観察会の実施方法について、「東区緑のボランティアの会」で検討し、実施する。					
○取組上の課題等 ワクチンの接種状況など、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、3密を避けた自然観察会の実施方法について「東区緑のボランティアの会」と一緒になって検討する。						
○備考						

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(2)-(イ)	具体的な取組	都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進				
事業目的・内容 都心近くには珍しい、複数の山を縦走することができる全長約5kmの牛田山ハイキングコースの認知度を高め、その利用者数を増やすことを目的に、平成25年度から毎年11月に、地元の学区体育協会と区役所、公民館、東区スポーツセンターが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」を開催し、ハイキングコースの魅力を区内外に広くアピールしている。				
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。				
○指標 牛田山ハイキング参加者数			○目標値の考え方 2019年度は、悪天候のため参加者数が123人とどまったため、2018年度実績である177人を基準とし、運営スタッフの人数に制限もあることから、最大200人を目標値として設定する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	177 (2018)	180人	0人	0%
○2020年度の取組内容等 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえて、共催の東区スポーツセンター、公民館、地元の学区体育協会と協議した結果、「牛田山ぐるっとハイキング」の中止を決定した。 コロナ禍におけるハイキングイベント実施事例の調査として、馬木公民館及び温品公民館への情報収集を行い、人数制限や小グループによる実施等、コロナ禍におけるハイキングイベントの実施方法の検討を行った。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
184人	新型コロナウイルス感染症の影響を見据えながら、共催の東区スポーツセンターや公民館、地元の学区体育協会との協議を行い、8月下旬までに実施方法の素案を作成し、実施する。			
○取組上の課題等 従来の実施方法では、多くの場面で密集・密接の発生が懸念されることから、参加人数の制限を行う等の公民館での実施事例を参考にしながら、実施方法を検討する。 関係団体間の意見調整に多くの時間を要することを踏まえ、例年9月初旬から開始している全体打合せ会議に向けて、各団体と随時協議を進めていき、8月下旬までに実施方法の素案をまとめる。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(2)-(ウ)	具体的な取組	地域主催のハイキングイベントを増やそう！			担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進						
事業目的・内容 東区には、都心の近くで自然に親しむことのできるハイキングコースが多数存在する。これらのハイキングコースの利用を促進し、自然とのふれあいの機会を創出することを目的として、令和2年度から新たに地域主催のハイキングイベントの実施を支援する。						
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。						
○指標 ハイキングイベントの新規実施件数				○目標値の考え方 2019年度は、上温品学区体育協会が町民ハイキングを、福田公民館と馬木公民館、戸坂公民館が地域団体と連携してハイキングイベントを実施している。2020年度からも、学区体育協会や公民館等との連携を図りながら、尾長山・大内越山・高尾山の3つの山で、新たにハイキングイベントを実施する。		
○目標値と進捗状況						
		2020				
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	4件/年	1件/年	1件/年	100%		
○2020年度の取組内容等						
温品公民館【新規】	高尾山	感染症対策に留意して実施し、26名が参加した。(11月29日) 広報面での支援依頼があり、Facebookでの情報発信等を支援した。				
<p>コロナ禍におけるハイキングイベント実施事例の調査として、馬木公民館及び温品公民館への情報収集を行い、人数制限や小グループによる実施等、コロナ禍におけるハイキングイベントの実施方法の検討を行った。</p> <p>都心に近いエリアにある尾長山・大内越山での実施事例がないことから、地元の二葉公民館と実施に向けて協議を行った。</p> <p>ハイキングコースの魅力をPRするため、ハイキングマップ(4エリア)を作成して、リニューアルした区HPに掲載した。また、ハイキングコースの案内板(10か所)の整備も行った。</p>						
○2021年度の目標値と取組方針等						
目標値		取組方針等				
1件/年		尾長山、大内越山での新規実施に向けて、「東区緑のボランティアの会」とも連携しながら、二葉公民館と協議・検討していく。				
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くことが見込まれるため、ハイキングイベントの実施に当たっては、密集・密接を避けることに留意した上での実施が必須である。 ハイキングのスタッフ経験がある「東区緑のボランティアの会」等と連携して、新規実施の支援をしていく。						
○備考						

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(3) 4-(1)-(オ)	具体的 な取組	「魅力と活力向上推進事業補助金」	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (3) 地域資源を生かした住民主体の活動の推進				
事業目的・内容 平成11年度から、地域特性を生かした個性豊かで魅力あるまちづくりを推進することを目的として、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動に補助金を交付している。				
○課題と対応 東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019年度までの過去7か年の新規申請件数が平均3.1件、2019年度新規申請件数が4件であることを踏まえ、今後も、毎年度4件以上の新規申請件数を目指す。	
○目標値と進捗状況				
		2020		
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	4件/年	4件以上 /年	2件/年	50%
○2020年度の実績等 1次募集での新規申請は2件であったため、2次募集に向けて、「市民と市政」での広報、公民館長会議や町内会長来課の機会をとらえて制度を周知した結果、具体的な取組の相談を1件受けたが、申請には至らなかった。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4件以上 /年	新年度募集開始時に地区社協等に手引き等の案内を送付する。また、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなど、より広く制度の周知を図っていく。			
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、通常の地域活動自体が自粛・縮小される中であって、新たな活動を開始しづらい情勢にはあるが、引き続き「市民と市政」などにより、既存の活動団体の事例を紹介するなど周知を図っていく。 また、地区社会福祉協議会等の団体に手引き等の案内を送付するなどして、今後の補助申請につながる取組・団体の掘り起こしを行う。				
○備考 元気なまちづくりプロジェクト補助（※）には、東区内の地域団体等が申請した7件が採択を受けて、コロナ禍にあっても、地域の魅力を高めるための活動に積極的に取り組んでいただいた。 （※）補助事業の内容等については次ページに記載				

(参考) 補助事業の活動内容一覧

2020年度 区の魅力と活力向上推進事業補助金(新規2件)

団体名	事業内容	補助額
つつじが丘バラ育成クラブ (東区上温品)	住民の交流を目的としたバラ育成クラブと交流サロンを運営して、引きこもりがちな高齢者や外出する習慣のない住民の活動場所・居場所を提供することで、住民間の交流を促進し、地域の活性化につなげていく。	100万円
かかし祭り実行委員会 (東区福田)	広島市森林公園を活用して、かかし祭り(オリジナルかかしの制作・展示・人気投票・表彰、ステージ発表、マルシェ)を開催し、世代間交流の促進と地域のにぎわいづくりにつなげる。	※ 60万円

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止し、下記の元気なまちづくりプロジェクト補助金で事業を行った。

2020年度 元気なまちづくりプロジェクト補助金(東区分7件)

団体名	事業内容	補助額
上温品学区社会福祉協議会	上温品老人運動広場を整地し、多くの人に利用しやすいグラウンドにすることにより、将来にわたって多くの人に活用される地域資源とする。	995万円
温品学区社会福祉協議会	地域の見どころとなる史跡に案内板を設置し、温品の魅力を地域の内外に紹介することで地域資源に磨きをかける。また、地域の子どもたちが描いた地域に伝わる昔話の絵本を印刷し、地域愛を育成する。	206万円
馬木地区社会福祉協議会	公園等の利用促進や各種イベントによる賑わい創出のための機材の購入と遊学の森の賑わい創出のための桜並木づくりにより、ウィズコロナ・アフターコロナにおけるまちづくりを行う。	757万円
エキキタまちづくり会議	屋外イベント用のテント・テーブル等の機材を購入し、地域のイベントや道路占用を伴うテラス営業店舗に貸し出すことで、地域のにぎわいづくりを支援し、同会議が目指す持続的に賑わいが生まれるまちを目指す。	1,000万円
和奏光夜実行委員会 (東区二葉の里)	プロジェクションマッピングの機材を購入することにより、イベント内容を充実させると同時に、ドリミネーションやフラワーフェスティバル等の市域のメジャーイベントに参加することで市域全体のにぎわいづくり等に貢献する。	869万円
かかし祭り実行委員会 (東区福田)	イベント用ステージ等を購入して環境整備することで、かかし祭りを地域の定番のお祭りに発展・定着させ、購入する機材は地域団体に貸し出すことで、地域の他の行事の充実に資することにより、森林公園を中心とした福田・馬木地区の魅力向上につなげる。	225万円
牛田の歴史と文化を生かしたまちづくりの会	牛田の歴史と文化を伝える昔話の紙芝居等を継承しながら、地域の史実を基にした新たな紙芝居を制作して披露することにより、地域資源に磨きをかけ、地域の魅力を発信する。	167万円

アクションプラン 検証シート（2020 年度実績）

項目番号 3-(4)-(ア)	具体的 な取組	健康づくりに取り組む若者を育てよう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 若い世代に対する健康づくり・健全な食生活の実践等に関する普及啓発を目的として、平成 22 年度から大学との包括的な連携のもと、大学祭で健康展（朝食・野菜摂取に関する展示、レシピ紹介等）を開催している。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 健康展の出展回数			○目標値の考え方 これまで広島女学院大学、比治山大学を隔年で実施していた。2020 年度からは両大学の大学祭において健康展を出展するため、年2回とした。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回/年</td> <td>2回/年</td> <td>1回/年</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	1回/年	50%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回/年	2回/年	1回/年	50%													
○2020 年度の実績内容等 健康展の出展を予定していた大学祭について、比治山大学は縮小、広島女学院大学は中止したため、大学の健康展が実施できなかった。 そのため、11月6日に広島女学院大学1年生及び教職員300名を対象とし、「生活習慣病から身を守る With Corona 時代の New Normal な生活様式、特に減塩」をテーマに、日下医院の日下院長を講師とした講演会をオンラインで開催することで、若い世代への健康づくり・健全な食生活の啓発を行った。																	
○2021 年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2回/年</td> <td>新型コロナウイルス感染症の影響により大学祭の開催は未定であるが、中止となった場合は 2020 年度と同様にオンラインで講演会を行う等、大学と協議して若い世代の健康づくりについて啓発を行う。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2回/年	新型コロナウイルス感染症の影響により大学祭の開催は未定であるが、中止となった場合は 2020 年度と同様にオンラインで講演会を行う等、大学と協議して若い世代の健康づくりについて啓発を行う。									
目標値	取組方針等																
2回/年	新型コロナウイルス感染症の影響により大学祭の開催は未定であるが、中止となった場合は 2020 年度と同様にオンラインで講演会を行う等、大学と協議して若い世代の健康づくりについて啓発を行う。																
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症の影響により、健康展を実施する大学祭が中止・縮小化する可能性があり、対応については大学と協議する。																	
○備考																	

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(4)-(イ)	具 体的 な 取 組	命の大切さや思いやりの心を育もう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 大学生が乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやり心を育むことを目的に、常設子育てオープンスペースにおいて、大学生と親子がふれあい、交流できるイベントを実施する。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催 件数			○目標値の考え方 年1回、継続的に開催する。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2019 実績</th> <th colspan="3">2020</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2019 実績	2020			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%
年度	2019 実績	2020															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1回/年	1回/年	1回/年	100%													
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症の影響により、休止していた常設オープンスペースは、6月8日から再開したが、常設オープンスペースでのイベントは感染拡大防止のため中止している。そのため、3月17日に、比治山大学の学生による親子ふれあい遊びや手洗いの指導など親子との交流をオンラインで実施し、14組の親子が参加した。																	
○2021年度の目標値と取組方針等																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回/年</td> <td>新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、効果的な開催方法を検討した上で実施する。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	1回/年	新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、効果的な開催方法を検討した上で実施する。									
目標値	取組方針等																
1回/年	新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、効果的な開催方法を検討した上で実施する。																
○取組上の課題等 新型コロナウイルス感染症拡大状況も考慮しながら、オンラインの活用など実現可能な実施方法を検討する。																	
○備考																	

アクションプラン 検証シート (2020 年度実績)

項目番号 3-(5)-(ア)	具体的な取組	地元のトップアスリートを応援しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 東区を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ」を応援することを通じて、区民がスポーツに親しむことを目的として、平成 28 年度から年 1 回、東区応援団を結成して試合の応援を行うとともに、区役所ロビーでの応援パネル展を行っている。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 東区応援団への参加者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 90 人であったため、2020 年度目標を 100 人とし、学区体育協会など各種団体への働き掛けにより、毎年度 10 人ずつ参加者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
		2020		
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	90 人	100 人	0 人	0%
○2020 年度の取組内容等 【イズミメイプルレッズの応援状況】				
実施日	応援状況			
8月25日	リーグ開幕に向け東区役所を訪問した中山監督と新キャプテン堀川選手を激励			
8月25日～9月18日	東区役所ロビー展第1弾(チーム・試合日程・リモート応援の紹介など)			
1月1日	「市民と市政」でチーム・試合情報をPR			
1月5日～1月29日	区役所ロビー展第2弾(試合結果・PR動画の紹介など)			
1月9日・1月11日	新たに作成した横断幕を東区スポーツセンターでの試合に掲示			
2月8日～2月21日	東区スポーツセンター及び学区体育協会の協力のもと募集した応援メッセージをチームへ届けた。その様子を Facebook で報告し、ホーム最終戦の応援を呼び掛けた。			
リーグレギュラーシーズン及びプレーオフの試合情報、試合結果を Facebook にて随時紹介し、応援を呼び掛けた。				
○2021 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
110 人	東区スポーツセンターや学区体育協会との協議、連携を図りながら、東区応援隊を結成して試合観戦する方法と併せて、2020 年度に行った応援メッセージ募集企画のように、応援隊を結成できない場合の応援方法を検討し、イズミメイプルレッズを応援する。			
○取組上の課題等 会場での試合観戦は 3 密の回避が課題となるため、東区応援隊の結成の有無及び方法については、イズミメイプルレッズや東区スポーツセンター、学区体育協会と協議する。 2020 年度のメッセージ募集企画は募集期間が短く応募が少なかったため、2021 年度は、実施内容について早期に決定し、広く周知する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(5)-(イ)	具体的な取組	高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 区民の生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を支援することを目的として、学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会、東区スポーツセンター等が協働して年3回（5月、10月、12月）、区内の小中学生や地域住民を対象にニュースポーツを体験するイベントを開催している。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数			○目標値の考え方 2019年度まで毎年3回継続開催しており、2020年以降も毎年3回継続して実施する。	
○目標値と進捗状況				
	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3回	3回	0回	0%
○2020年度の実績内容等 ニュースポーツを体験する東区スポーツセンター主催イベントの状況				
イベント名	実施時期	状況（新型コロナウイルス感染症の影響）		
ひがしくスポーツセンターまつり	5月→2月	一度延期したが、夏に中止を決定		
エンジョイ！スポーツ祭(スポーツの日)	7月	中止		
ニュースポーツ交流会	12月	中止		
広島市学区体育団体東区連合会と東区スポーツセンターは、2021年度は全てのイベントを実施する方向で準備を進めることとしており、開催する場合の運営や広報の方法について、区役所と関係団体で協議することとした。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
3回	年度当初から東区スポーツセンターや学区体育団体東区連合会と連携し、イベントを安全に開催するための工夫を協議していく。			
○取組上の課題等 「ニュースポーツ交流会」は従来どおり事前申込みにより参加者情報のとりまとめを行う。「ひがしくスポーツセンターまつり」と「エンジョイ！スポーツ祭」は不特定多数の参加が見込まれるため、事前予約等の参加者情報の管理や人数制限等の工夫、その周知方法を検討する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(6) 4-(2)	具体的 な取組	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (6) 都心に近い農業地域の活力向上				
事業目的・内容 東区の新鮮な野菜等の特産品を販売するイベントを開催することにより、農業の振興と、来訪者と区民や区民相互の交流を促進することを目的に、平成16年8月から、毎週木曜日に東区民文化センターにおいて「木曜であい市」を開催している。				
○課題と対応 「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。				
○指標 年間来場者数			○目標値の考え方 2018年度までの過去3年間で1回の来場者が103人から80人に減少しているため、2020年度の目標を4,000人(1回80人×年50週)と設定し、毎年50人ずつ(毎回1人ずつ)来場者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3,640人	4,000人	0人	0%
○2020年度の実績等 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「木曜であい市」の開催を中断しているため、参加者は0人であった。 「木曜であい市」の再開については、生産者と協議し、新型コロナウイルス感染症対策として人数制限(30人事前予約)を行った上で、1月14日から再開する予定にしていたが、感染が再拡大し、12月12日から2月21日まで、広島県・広島市「新型コロナ感染拡大防止集中対策」が実施されたため、再開時期を延期した。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4,050人	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、「木曜であい市」を再開する。再開後は、生産者と協力し、感染拡大防止を図りながら、段階的に人数制限を解除し、来場者数の増加に取り組む。			
○取組上の課題等 再開に当たっては、広報活動や感染症対策等の準備を進め、再開後も人数制限や手指消毒の徹底などの感染症対策を行う。感染状況等に応じた段階的な人数制限の解除等については、生産者と協議する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 3-(7)	具体的な取組	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (7) 地域の魅力の継承				
事業目的・内容 東区では、地域の魅力を子どもたちに伝えていくため、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会【以下、歴史】(牛田小学校、尾長小学校)、東区緑のボランティアの会【以下、緑ボラ】(尾長小学校)、東区ふれあひもてなし市協議会【以下、農家】(矢賀小学校)の3者が講師となり、地域の歴史や自然、農業などの学習を支援している。				
○課題と対応 子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。				
○指標 3者が学習支援を実施する学校等の数			○目標値の考え方 2019年度は3者が4校で学習支援を行っており、2025年度に3者が各1校ずつ増やし7校にすることし、2年ごとに1校ずつ増やすことを目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	4校/年	4校/年	3校/年	75%
○2020年度の取組内容等				
団体・学習支援実施校		学習支援内容等		
農家	①矢賀小学校(2年)	「矢賀うり」植付指導(6月) 「矢賀ちしゃ」植付指導(11月)		
歴史	②牛田小学校(3年) ③尾長小学校(6年)	校内授業で見立山・工兵橋など地域の歴史の講師(10月) ウォークラリー(七社寺)でのガイド(10月)		
緑ボラ	④尾長小学校(5年)	(中止) 自然学習の手引きを作成し、2月にデータ提供した。(例年は尾長山・二葉山でのガイド)		
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5校/年	感染症対策に配慮しながら、例年の4校への学習支援に加え、新たな学習支援校を増やす。 【農家】①矢賀小で、「矢賀うり」(6月)、「矢賀ちしゃ」(11月)の植付指導 【歴史】②牛田小(10月)、③尾長小(10月)、⑤広島女学院大学(新規)への学習指導 【緑ボラ】④尾長小(11月)への学習指導			
○取組上の課題等 3密を避けながら感染症対策を十分に行い、児童・ボランティア双方が安心して取り組める方法を検討する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 4-(1)-(ア)	具体的な取組	「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり				
事業目的・内容 JR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）では、地元企業や住民団体、東区役所によって、平成27年に「エキキタまちづくり会議」が設立され、その後、様々な取組を継続して実施している。 平成31年3月には、広島市が創設した「エリアマネジメント活動計画認定制度」の第1号として「エキキタエリアマネジメント活動計画」が認定された。これにより、エキキターレ（有効空地）及び二葉の里第三公園（街区公園）における規制緩和が認められたことから、これらを活用して自主財源を確保しながら、産官学民の協働・連携により、エキキタが一体となった持続可能なまちづくりを進めている。				
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。				
○指標 イベント等でのエキキターレの利用日数			○目標値の考え方 2019年度の利用実績 30日 を踏まえ、2025年度には、100日の利用（年間を通して週末にはイベント等が行われている状況）を目指し、利用日数を増やす。	
○目標値と進捗状況				
		2020		
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	30日/年	30日/年	6日/年	20%
○2020年度の取組内容等 【エキキターレ利用実績】				
利用月日	10月3・4日	11月14・15日	3月20・21日	
イベント名称	エキキターレ秋フェスタ	カラフルマルシェ	春のキッズフェスタ	
エキキタまちづくり会議が、元気なまちづくりプロジェクト補助金（※）を活用（補助率 9/10、補助金 1,000万円、自己負担 112万円）して、エキキターレにおいて密接・密集を避け、利用機会を増やすための環境整備（おしゃれなテーブルセット、ワンタッチ式マルシェテント）を行った。 （※）新型コロナウイルスの影響に負けず、地域活性化に向けて取り組む地域団体等を支援するため、2020年度に設けられた補助制度				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
40日/年	おしゃれなテーブルセット・ワンタッチ式マルシェテントの安価なレンタルをPRポイントにして、エキキターレの利用周知をHPなどで行う。			
○取組上の課題等 おしゃれなテーブルセット、ワンタッチ式マルシェテント等のレンタル料金の設定を早期に行う。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 4-(1)-(イ)	具体的な取組	「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり				
事業目的・内容 広島の新たな観光スポットとして、多くの方々にエキキタに足を運んでいただき、賑わいの創出を図ることを目的として、平成28年度から、「エキキタ・イルミネーション」として周辺企業・店舗と協働でイルミネーションイベントを実施している。平成30年度からは、「ひろしまドリミネーション」のサテライトエリアとして広島駅周辺地区まちづくり協議会とも連携し、「エキキタ・ドリミネーション」として開催し、周辺地域一体となった魅力発信を行っている。				
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。				
○指標 参加企業・店舗数			○目標値の考え方 2018年度に23企業・店舗、2019年度に20企業・店舗の参加実績があり、2025年度の30企業・店舗を目標として、毎年、新規参加店舗・企業を増やす。	
○目標値と進捗状況				
		2020		
年度	2019 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	20企業・ 店舗	25企業・ 店舗	25企業・ 店舗	100%
○2020年度の実績等 エキキタまちづくり会議において、元気なまちづくりプロジェクト補助を活用して、イルミネーション機材を購入した。エキキタ・ドリミネーションに参加する意向のある店舗等への無償貸出をすることで、参加店舗を5店舗増やすことができた。11月21日～12月27日の開催期間中、エキキタ内の25のスポットにおいて、地域住民や通勤する方々に楽しんでいただくことができた。 また、エキキタまちづくり会議の会員がロープライトの設置を自ら行うことで、経費の削減をするとともに、協賛広告を伴うポスター型マップをエキキタの各所に掲示して、15万円（昨年度8万円）の協賛金を確保することができた。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
26企業・ 店舗	イルミネーション機材を貸し出している店舗が継続的に参加できるように、丁寧にフォローを行うとともに、8月頃には協賛ポスター案を作成した上で、参加の呼び掛けを開始する。			
○取組上の課題等 今後さらに収支を均衡させ、持続可能な取組となるように、引き続き協賛金の確保に努める。 (2021年4月に区長が東警察署を訪問した際に、東警察署の新規参加の内諾をいただいた。)				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2020年度実績）

項目番号 4-(3)	具体的な取組 東区を花でいっぱいにして！	担当課 地域起こし推進課		
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (3) 公共空間（公園等）を活用した花づくり				
事業目的・内容 東区を花でいっぱいの潤いのあるまちにしていくことを目的に、平成25年度から3人以上で構成する花づくり団体へ、花づくりに必要な物品を提供し、安定して活動が継続できるよう支援している。				
○課題と対応 花づくりを行える公園等の公共用地で、まだ活用されていない場所が見受けられるため、支援制度の広報に力を入れ、活動を充実・強化する。				
○指標 花づくり活動団体数		○目標値の考え方 2019年度実績が40団体であるため、2020年度目標を42団体とし毎年1～2団体の増加を目指す。		
○目標値と進捗状況				
年度	2019 実績	2020		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	40 団体	42 団体	45 団体	250%
新規活動目標団体数：2団体、年度末実績5団体				
○2020年度の取組内容等				
・広報				
取組	時期	内容		
Facebookへの投稿	6・7・12・1月	区役所花壇の花づくり報告及び花づくり団体の募集		
「市民と市政」への掲載	8・2月	東区の花づくり団体及び支援制度の紹介		
チラシ配布	9月	講座時の花づくり支援制度の紹介を区内公民館へ依頼		
・下記5団体が増え、合計45団体となった。				
対応状況	数	団体（場所）		
支援開始	5	きらきら牛田通り（道路前私有地）、山根東真友会（公園） ハピグループ（市営矢賀住宅）、五月花ろ〜ど（福田町・道路） 大平花の会（福田・公園）		
・相談を受けた団体の希望活動場の土地管理者（維持管理課・建築課）への使用許可申請の支援を行った。				
・適地となる区内の公共施設及び公園の調査に着手した。				
○2021年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
43 団体	既存団体の支援を行いながら、適地とみられる公共施設の関係者に支援制度を紹介するなどにより、新しい活動団体を発掘していく。また、引き続き花づくり団体の紹介や区役所花壇での植替え活動報告等の広報を継続する。			
○取組上の課題等 新しく活動を始める団体に寄り添い、相談や許可申請の支援を行う。				
○備考				